

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価											
				指標			指標					総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 B					調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A			
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等職員が経営基盤の脆弱な小規模事業者に対して、巡回窓口において経営・金融・税務・労務等の経営全般に係る様々な相談に対応して、企業の経営力を向上し、健全な企業の持続的成長を支援する。また、創業を計画する者も対象とし経営全般に係る相談指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 335社 ・巡回窓口指導延件数 815件 ・課題解決提案件数 15件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 116.4 %)		指標	課題解決提案件数 (達成度 75.0 %)		小規模事業者への巡回訪問、窓口指導により経営全般に係る様々な相談に対応し、また、事業者の課題を把握し、課題解決に向けた提案指導により、経営及び技術の改善に繋がった。						総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 B		調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②
					700	実績 数値		815	目標 数値			20	実績 数値	15	目標①					目標②			
					700	実績 数値		815	目標 数値			20	実績 数値	15	目標①					目標②			
記帳継続指導	小規模事業者を対象に記帳方法の指導を行うことによって、適正な経理処理や決算、確定申告ができるようになるほか、自計化により経営内容が把握でき、経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数 89人 ・指導延日数 435日 ・指導延回数 1,092回 ・確定申告受付件数 174件	小規模事業者	指標	記帳指導対象者数 (達成度 98.9 %)		指標	確定申告受付件数 (達成度 116.0 %)		経理事務、決算および確定申告の適正な処理と自計化による経営の現状把握に繋がったことで、経営力の向上に結び付いた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	インボイス制度が導入され、新たにインボイス登録し免税事業者等に対応した記帳継続指導に努めて行く。				
					90	実績 数値		89	目標 数値								150	実績 数値			174	目標①	目標②
					90	実績 数値		89	目標 数値								150	実績 数値			174	目標①	目標②
講習会事業	小規模事業者に必要な金融・税務・経営・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させることにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 2回 3人 (内、経営革新 1回 1人) ・個別 12回 102人 講習会受講者数 計 14回 105人	商工会員	指標	講習会受講者数 (達成度 116.7 %)		指標			集団講習会ではメンタルヘルス対策として職場環境の維持整備による経営改善に繋がる知識を習得できることが出来、個別の指導では、小規模事業者の経営に資する情報提供と経営力向上に取り組み意欲の醸成を図ることが出来た。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	経済社会の動向に対応させた情報提供の機会を講ずることは必要であるが、より多数が参加できる方法を工夫して実施する。	○			
					90	実績 数値		105	目標 数値												目標①	目標②	
					90	実績 数値		105	目標 数値												目標①	目標②	
労働保険事業	商工会が労働保険事務等を代行することにより、小規模事業者の事務処理を軽減するとともに、労働保険制度の適用促進、保険料の適正徴収を図る。	労働保険料の申告、労働保険料の徴収及び納付、労働保険の諸手続き、労災保険特別加入の申請、雇用保険資格得喪失手続きの代行等を行った。 ・新規委託事業所数 2事業所	小規模事業者	指標	新規委託事業所数 (達成度 50.0 %)		指標			労働保険事務等の代行を通して、小規模事業者の事務処理負担の軽減化が図られたと同時に、労働保険制度の適用促進、保険料の適正な徴収に結び付いた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	労働環境の整備・適正化を促すことで、雇用の維持確保に繋げて行く。				
					4	実績 数値		2	目標 数値												目標①	目標②	
					4	実績 数値		2	目標 数値												目標①	目標②	
部会事業	商業・工業に属する会員の異業種間での交流の機会として視察研修等の機会を設け、情報交換を行うことにより、それぞれの事業における経営改善および成長を図る。	商業部会・工業部会合同で年1回視察研修を実施 ・視察研修参加者数 計 11人	小規模事業者	指標	視察研修参加者数 (達成度 44.0 %)		指標			異業種の会員が、本事業を通して経営状況や経営動向などの情報交換を行うことで相互の視察を深め、地域内での連携を図り経済活性化を図る気運の醸成に繋がった。		総合評価	B	事業実施評価の	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	変化が著しい経済動向に係る有益な情報提供・交換の機会として実施して行く。				
					25	実績 数値		11	目標 数値												目標①	目標②	
					25	実績 数値		11	目標 数値												目標①	目標②	
青年部・女性部事業	活動を通して交流を深め経営知識の修得や資質向上に対する意欲を醸成すると共に、イベントや奉仕活動などを通じて地域社会の発展に寄与することで地域経済の活性化を図る。	部員増強活動、商工会・行政主催のイベントへの参加、奉仕活動、他商工会青年部との交流、部員間の交流事業、部員の資質向上を図るための研修会の実施 ・新入部員加入数 青年部 4人、女性部 9人	青年部・女性部員	指標	青年部新入部員数 (達成度 200.0 %)		指標	女性部新入部員数 (達成度 450.0 %)		アフターコロナとして活動が本格的に再開出来たことで新入部員獲得に繋げることが出来た。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	青年部員・女性部員の経営者としての意識を醸成できる事業を企画して魅力ある組織作りを努力する。				
					2	実績 数値		4	目標 数値								2	実績 数値			9	目標①	目標②
					2	実績 数値		4	目標 数値								2	実績 数値			9	目標①	目標②
若手後継者等育成事業	町内の小規模事業者(若手経営者・後継者等)を対象に、通信技術の進展に伴い変化する販売促進活動について学習し、若手経営者等の育成、経営力向上を図る。	SNSアプリを活用した効果的な販売促進セミナーの開催(3回開催) ・講習会参加人数 3回計 38人	小規模事業者	指標	講習会参加人数 (達成度 126.7 %)		指標	アンケートによる満足度 (達成度 111.0 %)		新たな消費行動に対しCSNSアプリ活用の有効性を理解し、青年部員・女性部員が販促促進活動に主体的に取り組む気運を醸成出来た。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	青年部員・女性部員の経営感覚を向上させる為、経営に資するタイムリーな企画を実践して行く。				
					30	実績 数値		38	目標 数値								70	実績 数値			77.7	目標①	目標②
					30	実績 数値		38	目標 数値								70	実績 数値			77.7	目標①	目標②
総合振興事業(産業まつり)	幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行い、地域商店及び地域産業の振興・活性化を図る。	「産業まつり」の会場となる幸田町民会館の周辺において、10事業所が出展し、展示及び即売会を行う。 ・商工会関係出展者数 23事業者(内、キッチンカー7台)	商工業者	指標	商工会関係出展者数 (達成度 230.0 %)		指標			幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行ったことで、地域商店及び地域産業の振興・活性化に繋がる機会となった。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	幸田町と連携を図り、地域商店・地域産業の情報発信の機会として実施して行く。				
					10	実績 数値		23	目標 数値												目標①	目標②	
					10	実績 数値		23	目標 数値												目標①	目標②	
総合振興事業(彦左まつり)	行政、地域諸団体、幸田駅周辺商店等が協調して彦左まつりを開催し、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に寄与する。	彦左まつりを令和5年7月29日に幸田町保健センター駐車場及び幸田駅前通り周辺で開催した。 ・屋台出店数 33店 ・来場者数 25,000人	参加団体及び駅前地区商業者	指標	来場者数 (達成度 125.0 %)		指標			地域経済界・行政・市民団体等が協力して実施したことにより地域社会活性化と地域住民の連帯意識の高揚が図られた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	目標①	目標②	見直しをするが来年度は実施しない。				
					20,000	実績 数値		25,000	目標 数値												目標①	目標②	
					20,000	実績 数値		25,000	目標 数値												目標①	目標②	

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														備考						
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等							
総合振興事業 (新年賀詞交歓会)	幸田町内商工業者の販路拡大の一助として、商談会・情報交換会を開催することにより地域経済の活性化を図る。	1月10日に幸田町民会館にて親睦会を兼ねた商談会・情報交換会を実施 ・参加者数 92人	商工会員	指標	参加者数 (達成度 115.0 %)			指標	(達成度 %)			幸田町内の商工業者間での情報交換により、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化に繋がる機会となった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	町内商工業者と地域経済の活性化を図る機会として、より多くの参加者が参加できるよう配慮し開催する。			
				目標数値	80	実績数値	92	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	80	実績数値	92	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり				
総合振興事業 (街路灯管理事業)	平成元年に商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理及び経理事務を実施する。	年2回電灯料および組合費の集金のほか、球切れ、故障等への対応を行う。 ・街路灯維持管理本数 57本	商工業者	指標	維持管理本数 (達成度 86.4 %)			指標	(達成度 %)			商店街の看板効果と防犯を目的に建設した街路灯の維持管理を実施したこと、街路灯の安全性が確保出来た。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	残存する57本の安全な維持管理と安全対策上の撤去事業を並行して行う。			
				目標数値	66	実績数値	57	目標数値		実績数値						目標達成度			A	下げる		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	66	実績数値	57	目標数値		実績数値						目標達成度			B	現行どおり				
商業振興事業	地域商店のPR活動、ポイントカード事業及びイベントの実施により、地域商店の発展を支援する。	・ポイントカード事業の実施(スタンプ回収冊数 670冊) ・イベント事業(抽選会)の実施 ・加盟店 23店	商業者	指標	スタンプ回収冊数 (達成度 67.0 %)			指標	加盟店数 (達成度 95.8 %)			今年度急速スタンプ事業の廃止が決まり各種イベントを開催しスタンプの回収を促し、満点カードの回収に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	スタンプ事業が廃止となり目標値を変更して下げるが、消費者に対する加盟店舗のPRの継続強化を図る。			
				目標数値	1,000	実績数値	670	目標数値	24	実績数値	23					目標達成度			A	廃止		下げる	実施方法①	実施方法②
				目標数値	1,000	実績数値	670	目標数値	24	実績数値	23					目標達成度			B	変更する		変更する		
工業振興事業	各種産業団体に対する経営改善に資する指導の一環として経営ノウハウ等の情報交換を通して経営環境の整備向上を促すとともに地域の活性化を図る。	額田郡建設業組合 岡崎労働基準協会 講習会開催回数 2回、参加者数 61人	工業者	指標	講習会参加者数 (達成度 135.6 %)			指標	(達成度 %)			アフターコロナの社会環境下において徐々に活動を再開させ、経営に関するノウハウの情報交換の機会とする事が出来た。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	工業振興および法令順守を周知する機会を以って、会員事業所の健全な経営を推進する。			
				目標数値	45	実績数値	61	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	45	実績数値	61	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり				
観光振興事業	幸田町の観光資源の開発、特産品を活用した商品開発等により、町内外からの誘客を図ることにより地域活性化と商工業の振興を促進する。	・幸田町うまいもん創作委員会の開催 1回 ・幸田町観光協会事業協賛参加 3回 ・地域商品開発推進事業の実施 参加事業所数 20事業所 ・地域ブランド商品化事業 消防カレーの販売 ・ローゼンリズム事業 映画CM等撮影対応 4件	小規模事業者	指標	委員会開催回数 (達成度 33.3 %)			指標	観光協会事業協賛参加回数 (達成度 150.0 %)			幸田町のシティプロモーションに協賛し、観光資源、特産品を活用した商品開発などに関わったが、マルシェの開催は他事業との日程調整が不調となり実施出来なかった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	幸田町の持つ魅力をブラッシュアップして、町内外に訴求できる新たな価値を創出する為の活動を展開する。			
				目標数値	3	実績数値	1	目標数値	2	実績数値	3					目標達成度			A	現行どおり		現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標数値	3	実績数値	1	目標数値	2	実績数値	3					目標達成度			B	現行どおり		現行どおり		
金融対策事業	各種融資制度の周知案内することにより地区内における商工業者の金融の円滑化を図る。	・融資制度周知案内 2回 周知案内回数 2地区	小規模事業者	指標	周知案内回数 (達成度 200.0 %)			指標	(達成度 %)			夏季融資個別相談会及び年末融資個別相談会の周知を2回行い、商工業者の経営の安定化に貢献出来た。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	管内小規模事業者の安定的な経営を支える為、公的融資による運転・設備資金の調達を斡旋する。			
				目標数値	1	実績数値	2	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	1	実績数値	2	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり				
税務対策事業 (法人会)	中小企業者の健全な納税意識の醸成を図ること、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与する。	・研修会・講習会等の開催 ・幹事会の開催 ・新規会員数 8事業所	商工業者	指標	新規会員数 (達成度 160.0 %)			指標	(達成度 %)			コロナ後および通常の事業を全て実施。役員の積極的な新規会員加入勧奨活動により目標を上回る新規会員の獲得に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	健全な納税意識の醸成を図り、申告納税制度の適正化に寄与することで、企業の社会貢献に資する事業とする。			
				目標数値	5	実績数値	8	目標数値		実績数値						目標達成度			A	上げる		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	5	実績数値	8	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり				
労務対策事業	中小企業従業者の永年勤続の功績を称えと共に今後のさらなる貢献を期待して表彰事業を行う。	通常総代会において勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を授与する。 ・被表彰者数 16人	中小企に勤務する従業員	指標	被表彰者数 (達成度 160.0 %)			指標	(達成度 %)			中小企業の永年勤続従業員の功績を称えたことで、従業員満足度を向上させ、今後のさらなる能力向上に期待出来るようになった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を表彰する。			
				目標数値	10	実績数値	16	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	10	実績数値	16	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり				
福利厚生事業 (各種共済)	中小企業共済制度、愛知火災共済、特定退職金共済、小規模企業共済、中小企業倒産防止共済等の普及推進を行うことにより、中小企業者の福利厚生の増進及び経営の改善に寄与する。	巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し普及推進を行ったことで新規加入・増口事業所49件の獲得に繋がった。 ・中小企業共済 新規 24件 ・小規模企業共済 新規 9件 ・倒産防止共済 新規 4件 ・特定退職金共済 増口 12件	商工業者	指標	新規・増口件数 (達成度 163.3 %)			指標	(達成度 %)			各種共済を推進したことで小規模事業者の福利環境整備に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	相談時にメリットの大きな共済を適宜紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得に努める。			
				目標数値	30	実績数値	49	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり		実施方法①	実施方法②	
				目標数値	30	実績数値	49	目標数値		実績数値						目標達成度			A	現行どおり				
福利厚生事業 (健康診断・親睦事業)	中小企業、小規模企業の経営の安定及び雇用の維持を図るため、事業主及び従業員の健康診断事業及を実施すると共に、会員事業所の従業員等の相互の親睦融和を図り、健康管理と雇用の維持に寄与する。	健康診断 年1回 実施 ・参加者数 85人 親睦事業 ・開催無し	会員事業所・事業主及び従業員	指標	健康診断参加者数 (達成度 94.4 %)			指標	親睦事業参加者数 (達成度 %)			中小企業、小規模企業の雇用安定に資する事業として、従業員等の健康管理に寄与できた。親睦事業はコロナ禍で中断し再開を予定したが、事業実施を要望する声が少なく開催を取り止めた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果への A 満足度 A 必要性 A	補足	目標①	目標②	職場の健康促進が社会的なニーズとして高まるなか、小規模な事業所における管理体制の整備に貢献する。			
				目標数値	90	実績数値	85	目標数値	60	実績数値	-					目標達成度			A	現行どおり		廃止	実施方法①	実施方法②
				目標数値	90	実績数値	85	目標数値	60	実績数値	-					目標達成度			B	現行どおり		廃止		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。